

# 会 告

## 社団法人 土 木 学 会

行事案内	月 日	行 事 名	場 所	備 考
本 部	10月 21日 (金) ～ 22日 (土)	秋のエキスカージョン	長 野 県	9号2ページ参照
	11月 16日 (水)	第4回岩盤力学に関するシンポジウム	土 木 学 会	9号3 "
	11月 17日 (木) ～ 18日 (金)	土木技術者のための岩盤力学講習会	東 京	9号3 "
	11月 22日 (火)	第3回衛生工学研究討論会	土 木 学 会	9号7 "
	11月 29日 (火) ～ 30日 (水)	第3回トンネル工学に関するシンポジウム	東 京	9号4 "
	12月 5日 (月) ～ 6日 (火)	第13回海岸工学講演会	仙 台	9号7 "
北海道支部	10月 4日 (火) 10月 11日 (火)	見学会	北 海 道	9号9 "
関東支部	9月 27日 (火) 11月 11日 (金) 11月 12日 (土) 11月 18日 (金) 11月 18日 (土) 12月 7日 (水) ～ 9日 (金)			
中部支部	9月 28日 (水) 10月 7日 (金)	第1回見学会 第1回講演会	名 古 屋 岐 阜	8号10 " 9号10 "
関西支部	10月 7日 (金) 10月 11日 (火) ～ 12日 (水) 11月 13日 (日)	砕石コンクリート講習会 第3回見学会 関西支部年次学術講演会	大 阪 長 野 大 阪	9号11 " 9号11 " 8号11 "
西部支部	10月 28日 (金)	合同講演会	福 岡	9号11 "
そ の 他	10月 13日 (木) ～ 17日 (月) 10月 17日 (月) 10月 19日 (水) ～ 20日 (木) 10月 24日 (月) ～ 27日 (水) 11月 4日 (金) ～ 5日 (土) 11月 18日 (金) 11月 24日 (木) ～ 26日 (土) 11月 25日 (金) 12月 2日 (金)	写真測量の土木工学および工業への応用 に関する国際シンポジウム 路線の計画、設計の自動化に関する講習会 第16回応用力学連合講演会 日本地震工学シンポジウム 第3回災害科学総合シンポジウム 第13回風に関するシンポジウム 第15回レオロジー討論会 第13回橋梁・構造工学研究発表会 第7回構造の軽量化に関するシンポジ ウム	東 京 土 木 学 会 東 京 東 京 東 京 京 都 東 京 東 京 土 木 学 会 土 木 学 会	9号6 " 9号6 " 9号8 " 9号5 " 9号8 " 8号8 " 5号7 " 8号8 " 7号6 "
お知らせ	■土木図書館フィルムライブラリー			8号3 "
	■東洋レーヨン科学技術賞および技術研究助成候補について			8号12 "
	■第2回「国土開発映画コンクール」作品募集（締切9月30日）			9号2 "
	■国際会議の案内			9号12 "

## 第2回「国土開発映画コンクール」作品募集

土木学会は昭和39年秋、創立50周年を記念して「国土開発映画コンクール」を開催いたしました。この実績にかんがみて、今後隔年に映画コンクールを開催し、もって最近の土木技術発展のあゆみを、視聴覚によって、広くPRせんとするものであります。「第2回国土開発映画コンクール」作品をつぎによって募集いたします。ふるって応募のほどお願いします。なお、優秀作品は、当学会「建設技術フィルム・ライブラリー」として活用をはかる予定であります。

### 第2回国土開発映画コンクール要領

1. 内 容：国土開発に関し、土木技術を主とした映画
2. 規 格：16mm カラートーキー（上映時間20分以上）
3. 審 査：土木学会映画審査委員会
4. 賞 状：1等 1編 2等 2編 3等 3編 おのおの賞状ならびに賞牌
5. 発 表：1966年11月24日（土木学会創立記念日）
6. 締 切：1966年9月30日
7. 申 込 先：土木学会総務課あて

## 秋のエキスカージョン

◀ 10月21日（金）～22日（土） ▶

東電の梓川発電所は90万kWに達する大発電所群であるが、今秋にはコンクリート打設を開始する予定につき、上高地の紅葉観賞をかねてつぎによってエキスカージョンを計画いたしました。ふるってご参加下さい。

1. 集 合：10月21日（金）12.50 中央線松本駅前
2. 見 学 先：梓川、奈川渡ダム（高さ155mアーチダム）  
水殿ダム（高さ96mアーチダム）  
新竜島発電所、骨材プラント
3. 宿 泊 地：上高地（白樺荘）
4. 行 程：ゆきに骨材プラント、かえりにダム現場ほか見学
5. 解 散：10月22日（土）15.30 松本駅前
6. 参 加 費：3500円（バス代、宿泊費、22日の昼食：松本までの交通費は含まず）
7. 定 員：50名
8. 申 込 み：10月5日までに参加費を添えて土木学会総務課へお申込み下さい。参加券を送ります。取消しは10月15日（土）までのお申出に限り払戻いたします。

### — 参 考 —

ゆきの列車：新宿発 8.00	松本着 12.45（第2アルプス）
名古屋発 8.10	11.44（第1しなの）
かえりの列車：松本発 15.50	新宿着 20.18（第5アルプス）
16.25	名古屋着 19.56（第2しなの）

## 昭和41年度土木学会誌登載懸賞論文募集

土木学会誌編集委員会では明春新年号（第52巻第1号）登載の論文を懸賞募集しています。詳細は本誌第51巻第8号綴込をご覧ください。

1. 主 題：（1）一般の部 土木技術教育に何を望むか  
（2）学生の部 土木技術者としての抱負
2. 応募資格：土木学会会員に限ります
3. 原稿締切：1966年10月15日（厳守）

「土木技術者のための岩盤力学」講習会開催 ◀11月17日(木)~18日(金)▶

土木学会岩盤力学委員会(委員長 岡本舜三氏)は、ダム工学、トンネル工学に関係する土木技術者はもちろん地質学、地球物理学の関係者を含む広範な専門家を集めて、昭和38年発足以来、試験、調査の技術的な検討をはじめ研究成果の発表を行なっておりまいた。これらの成果は「土木技術者のための岩盤力学」として近く刊行されるはこびとなっておりまいた。

岩盤力学の体系化はこれからの土木工学の発展に重要な意義をもつものであり、そのためには今後一層の関係者の研鑽が望まれます。岩盤力学の新鮮さ、重要性を、同書の発刊にあたり、広く関係のかたがたにお知らせしたいと考え、下記により講習会を開催いたしますから、ふるってご参加下さい。

なお、講習会の前日(11月16日)に別記ご案内のとおり恒例の岩盤力学に関するシンポジウムも開催いたしますので、多数ご参加さいますようあわせてお願いいたします。

1. 期 日: 1966年11月17日(木)、18日(金) 9.00~17.00
2. 会 場: 虎ノ門共済会館3階講堂(地下鉄・都電・バス; 虎ノ門下車徒歩3分・電 583-5381~7)
3. 参加費: 未定
4. テキスト: 「土木技術者のための岩盤力学」B5判 500ページ程度、図表多数
5. 内 容:

第1章 地 質	建設省土木研究所	岡 本 隆 一
第2章 岩石の性質	電力中央研究所	井 上 康 夫
第3章 岩盤の試験	建設省土木研究所	飯 田 隆 一
第4章 水と岩盤	東京大学工学部	嶋 祐 之
	国鉄鉄道技術研究所	高 橋 彦 治
第5章 岩盤力学における理論計算	東京都立大学工学部	山 本 稔
	電力中央研究所	林 正 夫
第6章 滑り安定の計算	講 師 未 定	
第7章 模 型 実 験	電力中央研究所	林 正 夫
第8章 掘 削	鹿島建設株式会社	津 垣 昭 夫
第9章 ダム基礎への応用	東京電力株式会社	藤 井 敏 夫(予定)
第10章 トンネルへの応用	国鉄大阪工事局	山 口 良 雄
第11章 施工中および施工後の測定	関西電力株式会社	近 藤 信 昭
	建設省土木研究所	長 友 成 樹

◎参加費、申込方法、時間等は次号でお知らせいたします。

第4回岩盤力学に関するシンポジウム講演募集 ◀11月16日(水)▶

土木学会岩盤力学委員会では、下記により第4回岩盤力学に関するシンポジウムを開催いたしますので、講演ご希望の方はふるってご応募下さい。

1. 期 日: 1966年11月16日(水)
  2. 場 所: 土木学会土木図書館講堂
  3. 講演申込要項:
    - (1) 内 容: 岩盤力学に関する問題点の研究、実験、測定等。ダム、トンネル、爆破問題等も含む
    - (2) 講演申込締切: 8月末日
    - (3) 申 込 先: 東京都新宿区四谷1丁目 土木学会岩盤力学委員会
    - (4) 申 込 要 領: 講演題目、氏名、勤務先および内容梗概(400字程度)を付して申込むこと
    - (5) 原 稿 締 切: 9月末日
- 注: 1) 講演時間は、1件討議を含め30分程度を予定しております。  
 2) 講演の採否その他については岩盤力学委員会にご一任下さい。  
 3) 講演者には講演原稿をご執筆いただき、オフセット印刷のうえ、当日実費頒布する予定です。

### 第3回トンネル工学に関するシンポジウム開催 ◀11月29日(火)~30日(水)▶

土木学会トンネル工学委員会では、去る昭和39年3月トンネル標準示方書制定以来、トンネル土圧調査小委員会(村山朔郎主査)、工事の実態調査小委員会(住友 彰主査)、トンネル用鋼アーチ支保工の強度に関する研究小委員会(坂本貞雄主査)、シールド工法小委員会(西嶋国造主査)の各小委員会において、それぞれ専門的に調査研究を続けてまいりましたが、これらの調査結果を中心に下記により標記シンポジウムを開催することになりました。

また、当シンポジウムでは恒例により最近のトンネル施工の現況をもあわせて講演することになっております。会員諸氏におかれましては、ふるってご参加下さるようご案内いたします。

1. 期 日：1966年11月29日(月)、30日(火)の両日
2. 会 場：私学会館7階講堂(国電市ヶ谷駅下車徒歩3分)
3. 参 加 費：会員 2500円 非会員 3000円(予定)(テキスト代を含む)  
 テキスト { 第3回トンネル工学に関するシンポジウム(トンネル工学シリーズ3)  
 わが国シールド工法の実施例・第1集 ( " 4)
4. 申 込 方 法：参加費を添えて11月15日までに土木学会事業課までお申込み下さい。なお、定員がありますので満員の際は  
 お断りすることがあります。
5. プログラム： (11月29日)
 

9.00~9.10	開会あいさつ	土木学会トンネル工学委員会委員長 藤井 松太郎
9.10~9.50	トンネル土圧について	京都大学防災研究所 ○村山 朔郎
9.55~10.35	トンネル土圧の測定方法と現況	国鉄鉄道技術研究所 ○高橋 彦治
10.40~11.20	鋼アーチ支保工の強度	KK大林組 坂本 貞雄・建設省土木研究所 ○伊吹山 四郎
11.25~12.05	トンネル掘削における余掘の実態について	KK橋梁コンサルタント 住友 彰・建設省道路局 南部 繁春 国鉄建設局 ○峰木 守・日本鉄道建設公団 高山 昭 日本道路公団 今西 誠也・電源開発KK 渡部 雅
12.05~13.00	昼食休憩	
13.00~13.40	セグメントの設計について	早稲田大学理工学部 村上 博智・東京都立大学工学部 ○山本 稔
13.45~14.25	栗子トンネル工事計画と施工実績について	日本道路公団 ○山本 元
14.30~15.10	親不知トンネルの工事計画と施工実績について	国鉄本社審議室 ○北村 章
15.15~15.55	青函トンネルにおけるウォールマイヤー式トンネル掘進機の掘削試験について	日本鉄道建設公団 ○天野 礼二
- (11月30日)
 

9.00~9.30	わが国シールド工法の実施例・第1集について	帝都高速度交通営団 ○西嶋 国造・東京都交通局 遠藤 浩三 東京都下水道局 松岡 正次・東京都水道局 中川 義徳 東京電力KK 吉川 新吉・大阪市交通局 小林 幸蔵
9.35~10.15	大阪地下鉄複線型と単線型シールドの実施例と問題点	大阪市交通局 ○宮内 義人
10.20~11.00	シールド工法による駅部の施工計画について	帝都高速度交通営団 西嶋 国造・東京都交通局 ○遠藤 浩三
11.05~11.45	わが国小口径シールドの現況	東京都水道局 ○中川 義徳・東京都下水道局 松岡 正次・東京電力KK 吉川 新吉
11.50~12.00	閉会あいさつ	土木学会トンネル工学委員会幹事長 加納 俊二
6. 見 学 会：11月30日 14時  
 講習会終了後下記により見学会を開催いたします。参加希望者はシンポジウム申込と同時に申し出下さい。なお、現場の都合もあり、必ずしもご希望の現場を見学できない場合もありますので希望順位をお書添え下さい(参加費無料)。
  - A. シールド工法実施現場(帝都高速度交通営団担当現場および東京都交通局担当現場の予定)参加人員 100名
  - B. 凍結工法実施現場(東京都交通局担当現場の安定)参加人員 50名
 なお、詳細は当日会場にて発表いたしますが、集合場所は現地になる予定です。

# 日本地震工学シンポジウム(1966)参加募集

◀ 10月24日～27日(木) ▶

1962年地震工学国内シンポジウムが開かれ、1965年1月ニュージーランド開催の第3回世界地震工学会議にそなえて所期の成果をあげました。本年も1969年チリで開催予定の第4回世界地震工学会議にそなえ、下記により、標記シンポジウムを開催、国内の地震工学専攻の研究者はもちろん外国からも多数の参加を得て関係技術者の知識の交流、研究情報の交換とあわせて相互の親睦をはかることとなりました。つきましては、各方面から振ってご参加下さるようご案内致します。

共催：地震学会・土質工学会・土木学会・日本建築学会

1. 日 程：1966年10月24日(月)～27日(木)4日間 [24日(月) 研究発表会、パネル討論会、懇親会・25日(火)、26日(水) 研究発表会、パネル討論会・27日(木) 見学会]
2. 会 場：第一生命ホール(東京都千代田区有楽町1-9 第一生命館6階 電東京 216-3810)
3. 定 員：700名
4. 参 加 費：1500円
5. 申込要領：(1) 申込締切 10月5日(水)
  - (2) 大きさB5判以下の適宜用紙に「日本地震工学シンポジウム(1966)参加申込」と必ず明記し、氏名、勤務先、連絡先、所属学会、参加項目(シンポジウム、懇談会、見学会の別、見学参加者は、班別を明記)、を記載、参加費(現金または為替)をそえて、所属学会または幹事学会にお申し込み下さい。  
幹事学会：日本建築学会(東京都中央区銀座西3-1)
  - (3) プロシーディングスは10月10日頃印刷できる予定です。参加者には無料で配布致します。10月11日～23日はお申込みの学会で、開催期間中は会場で、それ以後は幹事学会(前掲)で引換券と引換えにお受取り下さい。引換券はお申込み入金のあり次第参加票とともにのお送り致します。
  - (4) 締切期日前でも定員になり次第申込みを締切りますからなるべく早目にお申込み願います。
6. プロシーディングス：B5版、オフセット刷、論文76編およびパネル討論会資料を掲載。会場における質疑応答、討議内容は後日印刷のうえ参加者に送付いたします。
7. 懇 親 会：会期中下記の通り懇親会を開催致しますから、参加希望の方は会費を添えてシンポジウム申込みと同時に申し込み下さい。ただし、申込順により満員になり次第締切ります。  
日 時：10月24日(月)17～19時 会 場：糠業会館 2階ホール(東京都千代田区有楽町1-7 シンポジウム会場南側) 会 費：1000円 定 員：120名
8. 見 学 会

班 別	見 学 先	集 合 場 所、時 刻	解 散 場 所・時 刻	定 員	会 費
A	① 建設省建築研究所、② 電力技術研究所、 ③ 鹿島建設技術研究所	都 新宿百人町3丁目 建築研究所内 国際地震工学 研修所 9.00	新 宿 駅 前 17.00	50名	200円
B	① 東大地震研究所 ② 建設省土木研究所千葉支所	都 文京区弥生1丁目 地震研究所玄関 9.00	東 京 駅 前 17.00	50名	200円
C	① 東大生産技術研究所 ② 運輸省港湾技術研究所	都 港区麻生新竜土町10 生産技術研究所 正面玄関上 3階会議室 9.00 (港湾研へは各自移動)	久 里 浜 駅 前	50名	200円

A班の建研～電力研～鹿島技研～新宿駅、B班の震研～土研～東京駅、C班の久里浜駅～港湾研～久里浜駅の各区間はバスを用意致します。C班の東大生研～港湾研のうち、生研～久里浜駅間は各自国鉄利用で移動願います。  
申込みは、前掲申込みと同時に、会費を添えて申込んで下さい。ただし、各班とも満員の際はお断りします。

## 9. 日 程 表

第1日・10月24日(月)		第2日・10月25日(火)		第3日・10月26日(水)	
9.10 } 12.00	主として地震動、地盤の動的性状に関する論文発表	9.00 } 12.00	主として構造物の地震応答に関する論文発表	9.00 } 11.10	主として耐震実験・実測に関する論文発表
12.50 } 13.40	主として土の動的性質に関する論文発表	13.00 } 14.20	同 上	11.10 } 12.10	主として震害に関連する論文発表
13.40 } 14.20	主として地震計、振動台に関連する論文発表			13.10 } 14.10	主として耐震設計に関する論文発表
14.30 } 16.30	パネルディスカッション「地震時の地盤性状」	14.30 } 16.30	パネルディスカッション「構造物の地震応答観測」	14.20 } 16.20	パネルディスカッション「構造物の耐震試験」

\* 今回は一般講演76題のうち、外国から13題の申込がありましたので、多数ご参加願いたく存じます。

“路線の計画，設計の自動化”に関する講演会 ◀10月17日（月）9.00～ ▶

国際写真測量学会のシンポジウム開催を機に来日されるこの方面の世界的権威3氏を招いて，土木学会・日本写真測量学会主催で，上記のテーマについて講演会を開催し，欧米諸国の現状をきく機会を持つことを計画しました。

予定されている講師および題目はつぎのとおりです。

なお，講演会終了後，見学会をシンポジウムのスケジュールにしたがって行ないます。

1. 場 所：土木学会土木図書館講堂
2. 講 師：Dr. Kasper （スイスにおける道路自動設計の現状）  
Dr. Ternryd （メキシコの道路設計）  
Dr. Blaschke （ドイツにおける道路設計）

なお，シンポジウムに登録された方は参加費不要，その他の方は 500 円をそえ日本写真測量学会へお申込み下さい。

写真測量の土木工学および工業への応用に関する国際シンポジウムの開催

International Symposium of Photogrammetry, Comm. V  
On Application of Photogrammetry to Civil Engineering and Industry

国際写真測量学会第5部会は日本写真測量学会と協力して上記のテーマによる研究発表および討議を来る 10 月 13 日より 17 日まで東京赤坂の都市センターホールで開くことになりました。シンポジウムの内容は写真測量の土木工学へ応用特に路線の自動設計について世界的な権威な方が参加されることになっております。なお，写真測量による精密測定法の工業への利用，また軟弱地盤の調査，水文学への応用など新しい応用面が含まれております。

この絶好の機会に皆様の参加をお待ち申し上げております。なお参加希望の方は，下記の登録表に必要事項を記入して 9 月末日までに日本写真測量学会事務局に申込んで下さい。

日本写真測量学会事務局；東京都千代田区九段 4 丁目 15 の 2（電話；東京（402）6231 内線 472）

ス ケ ジ ュ ー ル

- 10 月 13 日（木） 9：00～10：00 参加者の登録／10：00～11：20 開会式／11：40～12：30・14：30～17：00 写真測量の土木工学への応用に関する研究発表および討議／18：30～20：30 日本写真測量学会長と国際写真測量学会第5部会長によるレセプション
  - 10 月 14 日（金） 9：00～12：00 写真測量の土木工学への応用に関する研究発表および総合討議／14：00～17：00 写真測量の工業界への応用に関する研究発表および討議／18：00～21：00 観劇または夜の東京観光
  - 10 月 15 日（土） 9：00～12：00 写真測量の工業界への応用に関する研究発表および総合討議／14：00～17：00 その他の研究発表および討議／17：00～18：00 閉会式
  - 10 月 17 日（月） 見学会：9：00～12：00 国土地理院見学／14：00～17：00 東大生産技術研究所と写真測量会社見学
  - 10 月 17 日（月） 9：00～12：00 写真測量の道路工学への応用に関する特別講演会（外人3名）（土木学会および日本写真測量学会共催）
  - 10 月 18 日（火） 9：30 箱根エキスカカーション東京出発途中富士フィルム見学（バス旅行参加費 2000 円）
  - 10 月 19 日（水） 夕 東京帰着
- （註）シンポジウムはすべて日本語と英語の同時直訳でおこなわれます。

国際写真測量学会応用写真測量シンポジウム参加申込票						
	氏 名 (ふりがなつき)			右 欧 文 名 (Block Letters)		
Prof. Dr : Mrs Mr : Miss						
住 所				電 話		
連 絡 先				電 話		
参加希望日	10 月	13 日	14 日	15 日	17 日 (一般講演)	18 日・19 日 (エキスカカーション)

### 第3回衛生工学研究討論会

◀ 11月22日(火) ▶

下記により第3回衛生工学研究討論会を開催いたしますのでふるって参加されますようご案内いたします。

1. 主催：土木学会衛生工学委員会
2. 期 日：1966年11月22日(火)
3. 会 場：土木学会土木図書館講堂
4. 参加費：無料
5. 講演論文集：参加者の便宜のため当日会場にて実費頒布しますから希望者はお買求め下さい(600円程度の見込み)。

#### プ ロ グ ラ ム

9.00~9.10	開 会 挨拶	衛生工学委員会委員長 板倉 誠
9.10~9.30	① 活性汚泥法における浄化機構の基礎的研究	京都大学工学部 合田 健・中西 弘・宗宮 功
9.30~9.50	② 活性汚泥法の浄化機構について	東北大学工学部 松本順一郎・大沼正郎
9.50~10.10	③ 接触曝気法による下水処理装置	栗田工業総合研究所 関川泰弘・増田暢夫・田中郁雄・石過外志勝
10.10~10.40	①~③ 討 議	
10.40~11.00	④ 皮革工場群からの廃水の除害施設の研究	建設省土木研究所 柏谷 衛・菅原正孝・小堀和夫・柳川富雄・長谷川 清
11.00~11.20	⑤ 家庭用吸込槽と洗剤の分解性について	ライオン油脂研究所 大場健吉・吉田幸雄
11.20~11.40	⑥ 隅田川の水質予測とその対策	東京大学工学部 杉木昭典
11.40~12.10	④~⑥ 討 議	
12.10~13.10	昼 食 休 憩	
13.10~13.30	⑦ モデル河口貯水池の水質変動	東京大学工学部 徳平 淳・市川 新
13.30~13.50	⑧ 活性珪酸の生成と作用の機構	北海道工学部 丹保 惠 仁
13.50~14.10	⑨ 地域開発よりみた浄水方法の2,3の問題	東京大学工学部 綾 日出教
14.10~14.40	⑦~⑨ 討 議	
14.40~14.50	休 憩	
14.50~15.10	⑩ 漏水を考慮した管路の設計	新日本技術コンサルタント 雄倉 幸 昭
15.10~15.30	⑪ 管路における流速公式の比較と計算手順について	北海道大学工学部 高 桑 哲 男
15.30~15.50	⑫ 火災時を中心とした都市水道施設の設計法に関する2,3の研究	京都産業大学 保野健治郎
15.50~16.50	⑬ 管路内下水の熱収支	北海道大学工学部 神 山 桂 一
16.10~16.50	⑩~⑬ 討 議	
16.50~17.00	閉 会 挨拶	板倉 誠

### 第13回海岸工学講演会

◀ 12月5日(月)~6日(火) ▶

第13回海岸工学講演会はつぎの日程により仙台市において開催することになりました。今年の講演申込数は50編を越え非常に盛会が予想されますので講演を申し込まれなかった方も多数ご参加下さい。なお、講演集はB5版活版印刷で目下編集中です。

1. 場 所：宮城県民会館(仙台市定禅寺通り櫓丁48 電 仙 台 25-8641)
2. 講 演 会：1966年12月5日(月)~6日(火) (詳細のプログラムは次号に発表)
3. 見 学 会：1966年12月7日(水) 8.00~17.00  
宮城県民会館前集合(8.00)——市内(青葉城)——塩釜海岸——松島海岸(双鶴山~瑞巖寺~五大堂)——石巻海岸(日和山~工業港現場)——女川港——仙台駅前解散(17.00)
4. 見学会参加費：500円(バス代および昼食代)
5. 申 込 先：東京都新宿区四谷一丁目 土木学会海岸工学講演会係
6. 講演会場案内：電 車——仙台駅前より八幡町または北仙台行(黒字)に乘車、県庁市役所前下車、徒歩5分  
バ ス——仙台駅前より北山行乗車 市役所前下車  
タクシー——仙台駅前より100円
7. 宿 泊 案 内：今回はとくに取扱いませんが共済施設として、つぎのようなものがありますので参考までにお知らせします。

国家公務員共済組合連合会仙台共済会館(仙台市長刀町7 電 仙 台 25-5201)

国家公務員共済組合連合会仙台宿泊所翠風荘(仙台市北4番丁162 電 仙 台 22-4469)

公立学校共済組合保養所白萩荘(仙台市錦町7 電 仙 台 22-6692)

## 第 16 回応用力学連合講演会

◀ 11 月 19 日 (水) ~ 20 日 (木) ▶

例年のとおり、標記講演会が日本学術会議力学研究連絡委員会ほか 8 学協会共催によって、下記の要領で開催されます。プログラムをご希望の方は土木学会総務課までお申し込み下さい。

1. 場 所：東京大学工学部 5 号館講義室（東京都文京区本郷 7-3-1）
2. 講 演：第 I 部（弾性学，塑性学，粘弾性学，構造力学，材料強度，土質力学，摩擦など） 47 題  
 第 II 部（流体力学，空気力学，電磁流体力学，水力学，水理学，気象学，潤滑など） 3 題  
 第 III 部（熱，熱力学，伝熱など） 3 題  
 第 IV 部（一般力学，振動，波動，応用数学，自動制御，組織工学，計算機など） 29 題
3. 特 別 講 演：① 19 日 13.00~14.00  
 「摩擦現象について」 東京大学教授 曾 田 範 宗  
 ② 20 日 13.00~13.50  
 「宇宙ロケットの技術的諸問題」 東京大学教授 玉 木 章 夫
4. 懇 談 会：19 日 17.40~20.00 東大工学部 7 号館，会費 700 円
5. 講演論文抄録集：第 I 部 450 円 第 II, III 部 (合本) 300 円 第 IV 部 300 円 (各送料とも)  
 9 月 30 日までに代金を添えて，東京都港区赤坂 4-1-24 日本機械学会（電話 東京 582-6911）  
 までお申し込み下さい。

## 第 3 回災害科学総合シンポジウム講演募集

◀ 11 月 4 日 (金) ~ 5 日 (土) ▶

文部省科学研究費特定研究（災害科学）の災害科学総合研究班（研究代表者 徳島大学長 理博 長谷川万吉氏）が中心となり、(1) 災害科学に関する研究発表と討議，(2) 災害科学防災科学の基本問題に関する討議の機会を提供する目的をもって，下記により総合シンポジウムを開催いたしますので，本学会はこれを後援することにいたしました。ふるってご参加下さるようご案内します。

1. 期 日：1966 年 11 月 4 日 (金)，5 日 (土) 両日とも 9.00~17.00
2. 場 所：京都大学工学部土木工学教室
3. 講演申込要項：
  - (1) 内 容：異常気象，雪氷災害，河川災害，海岸災害，津波高潮，地盤災害，地震予知，地震動災害，火山噴火予知，農林災害，その他
  - (2) 講 演 申 込：締切 8 月 15 日，講演題目，氏名，勤務先および講演内容の概要（400 字以内）を記し，下記宛に申込むこと。
  - (3) 講演要旨の提出：締切 8 月末日 所定の用紙 2 枚以内（図表を含む）の講演要旨を下記にて提出のこと。用紙は請求次第送付する。
  - (4) 申 込 先：京都市左京区吉田本町 京都大学防災研究所 災害科学総合シンポジウム系

## 北海道支部行事案内（札幌市南一条西 2 丁目 勸銀ビル 5 階）

電 札幌 25-2211 内線 252

### (1) 研究発表会論文・報文・募集

北海道支部年次研究発表会（2 月下旬）に発表の論文または報文をつぎの要領で募集します。

1. 発 表：北海道支部刊行技術資料第 23 号に本印刷掲載
2. 内 容：土木技術論文・工事報告文
3. 応募方法：応募者は，題名・所属・氏名を支部事務局へ口頭または郵便で申込みのこと。ただちに原稿執筆要領，所定の原稿用紙を送付する。
4. 原稿締切：11 月末日厳守  
 発表者には薄謝を呈し，特にすぐれたものには，支部奨励賞（賞状・メダル・賞金）を贈り表彰する。



(2) 秋季見学会

◀ 10月4日(火) および 10月11日(火) ▶

1. 帯広地区：①期日：10月4日(火)・日帰り，②申込締切：9月3日，③申込先：支部事務局，④見学工事：帯広市立体交差，帯広川改修工事，新狩勝トンネル，道路改良工事
  2. 室蘭地区：①期日：10月11日(火)日帰り，②申込締切：10月8日，③申込先：室蘭開建道路課または支部事務局，④見学工事：苫小牧工業港，豊平橋架換工事，中山峠改良工事，国鉄崎守トンネル，国鉄元室蘭トンネル
- 参加料：一般会員各500円(学生会員300円) 定員：各50名 先着順締切：乗物：観光バス

関東支部行事案内

(東京都新宿区四谷1丁目 土木学会総務課内・電 東京 351-4133)

(1) 「舗装」講習会

◀ 11月11日(金) ▶

1. 会場：ヤマハホール(東京都中央区銀座7丁目1 電話 東京 572-3111, 国電・地下鉄新橋下車，都電銀座7丁目停留所前)
2. プログラム：
 

9.20~10.00	①舗装について	建設省	高橋 国一郎
10.10~11.50	②アスファルト舗装要綱の問題点について	中央大学	竹下 春 見
12.50~14.00	③アスファルト舗装の品質管理	土 研	松野 三 朗
14.10~15.20	④舗装施工上の問題点	日本舗道	中 島 彬 博
15.30~16.40	⑥簡易舗装について	建設省	田 中 淳七郎
3. 定 員：500名
4. 参加費：1300円程度の予定(テキスト代1000円程度を含む)
5. 申込み：参加費，テキスト代の決定額とともに10月号でお知らせいたしますが，予約申込み(適宜の方法で)をしていただければ優先受け付けいたします。

(2) 「下久保ダム，利根川大堰」見学会

◀ 11月12日(土) ▶

秋の見学会として，東京周辺で実施中の水資源開発公団の工事を選びました。下久保ダム工事は目下最盛期にあり，利根川大堰の工事は着工後2年目を迎え，利根本川中央部締切工事着工の予定であります。いずれも現場見学としては最良の機会であります。ふるってご参加下さるよう，おすすめいたします。

1. 集 合：11月12日(土) 10.10 国鉄高崎線 高崎駅前
2. 見 学 先：下久保ダム，利根川大堰
3. 解 散：11月12日(土) 16.40 国鉄高崎線 熊谷駅前
4. 定 員：50名
5. 参加費：500円(昼食を含み，高崎までと熊谷からの交通費を含まない)
6. 申込み：10月31日(月)までに参加費を添えて関東支部へお申し込み下さい。  
 —参考—(ただし10月ダイヤ改正にご注意下さい)  
 ゆきの列車：上野 8.30 発 高崎 10.00 着 急行第1信州  
 かえりの列車：熊谷 17.00 発 上野 18.05 着 急行草津いでゆ  
 " 17.12 発 " 18.25 着 普通列車

(3) 「新しい工程管理」講習会

◀ 11月18日(金) ▶

1. 会場：ニッショーホール(東京都港区芝西久保明舟町18 電話 東京 501-1365, 地下鉄虎の門下車，都電西久保町下車)
2. プログラム：
 

9.00~10.50	①ネットワーク手法の基本理念	大成建設	加 藤 昭 吉
11.00~12.00	②建設部門におけるネットワーク手法の今後の動向	建設省	本 山 蒔
13.00~14.00	③国鉄 PERT と今後の展望	国 鉄	矢 部 真・北 井 良 吉
14.10~15.30	④ネットワーク手法の応用例	三菱重工業	鴨 打 幹 人
15.40~17.00	⑤事業管理とネットワーク	首都高速道路公団	角 田 安 一
3. 定 員：300名
4. 参加費：1000円程度の予定(テキスト代を含む)
5. 申込み：参加費，テキスト代の決定額とともに10月号でお知らせしますが，予約申込み(適宜の方法で)をしていただければ優先受け付けいたします。

(4) 「道路と交通」講演と映画の会

◀ 11月19日(土) 13.00 ~ ▶

土木に対する一般の認識を高めるための一つの方法として、広く公衆を対象とした講演と映画の会を開催いたします。会員の方のご参加を歓迎いたします。

1. 主催：土木学会関東支部・毎日新聞社・交通工学研究会
2. 後援：警察庁・建設省
3. 会場：ニッショーホール（前掲）
4. 講師：① 警察庁交通局長 内 海 倫  
 ② 毎日新聞社論説委員 未 定  
 ③ 交通工学研究会
5. 映画：「世界の道路と都市」その他
6. 定員：500名
7. 参加費：無料

(5) 「現場技術者のための測定技術」講習会 ◀ 12月7日(水), 8日(木), 9日(金) ▶

最近土木工学が進歩するにつれて、着工前に工事現場で工学的条件の測定を行なうばかりでなく、工事中も工事を測定器で計算しながら施工管理をして行く傾向が顕著になって来ています。

このため関東支部では、新しく土木工学に应用されているものの中で、主として、ひずみ、応力および変位に関する測定技術についてのゼミナーを開催いたしますので、多数ご参加下さい。なお、講義には土木工学での応用を多く引用する予定であります。

1. 会場：土木学会土木図書館講堂（講義、実習とも）
  2. プログラム：第1日 12月7日(水) 講義
 

9.50 あいさつ	土木学会関東支部長 当 山 道 三
10.00~12.00 カールソン型計器を主とする測定	KK土木測器センター 中 根 博 司
13.00~15.00 ストレインゲージによる測定	新興通信工業KK 青 柳 鷹之助
15.10~17.10 差動トランスおよび摺動抵抗による測定	坂田電機KK 針 生 幸 治
  - 第2日 12月8日(木) 実習 9.30~16.00
  - 第3日 12月9日(金) 実習 9.30~12.00  
 討議 13.00~16.00
- 実 習 内 容 —
- ① カールソン型計器の基本操作と測定結果の解釈
  - ② 鉄片およびコンクリート片へのゲージのはりつけおよび測定実習
  - ③ 差動トランスと摺動抵抗に在る測定の基本操作と測定結果の解釈
3. 定員：講義および実習 60名  
 講義のみ 100名（上記60名のほかに）
  4. 参加費：講義および実習（3日間）6000円  
 講義のみ（1日間）2000円  
 （いずれもテキスト代1500円を含む）
  5. 申込み：参加費を添えて11月5日までに関東支部へお申し込み下さい。ただし満員になり次第締切ります。

中部支部行事案内 (名古屋市中村区笹島町1の223  
 名古屋鉄道土木部庶務課内・電 名古屋 571-2111)

(1) 第1回講演会

◀ 10月7日(金) ▶

1. 日 時：1966年10月7日(金) 9.00~16.00
2. 場 所：岐阜県市町村会館（岐阜市旧泉庁前）

3. 演 題 : A 中部経済圏開発をめぐって 名古屋大学教授 横 越 英 一  
 B 都市再開発について 名古屋大学教授 毛 利 正 光  
 C 映 画  
 東海道新幹線 カラー 16mm ワイド 千日道路 カラー 16mm ワイド
4. 定 員 : 100 名  
 5. 参 加 費 : 無 料  
 6. 申込および問合せ : 9月 30日 (土) までに最寄の幹事または中部支部へ勤務場所, 氏名をご連絡下さい。申込み多数の場合はお断りする場合がありますからご了承下さい。

関西支部行事案内 (大阪市東成区中道元町 1 丁目 149  
 電話 大阪 981-2510 振替口座 大阪 82599 番)

(1) 第 3 回見学会 (黒部川第四発電所見学会) ◀ 10 月 11 日 (火) ~ 12 日 (水) ▶

1. 期 日 : 1966 年 10 月 11 日 (火) ~ 12 日 (水) の両日  
 2. 見 学 先 : 黒部川第四発電所  
 3. 集 合 : 10 月 11 日 18 時 30 分までに国鉄信濃大町駅前に集合  
 4. 行 程 : (第 1 日) 信濃大町 18 時 30 分発 (北アルプス交通バス) — 19.15 扇沢着  
 扇沢ロッジ泊 (大田市大字平区蓋川谷国有林 2117 番 公衆電話なし  
 連絡は関西電力 KKK 水力計画課 (電 大阪 441-8821 番へ)  
 (第 2 日) 扇沢 8.30 発 (トロリーバス) — 8.45 ダム着, 見学 (40 分) 9.25 発 (マイクロバス) — 9.45 作  
 廊着 (インクライン上部) — 10.45 地下発電所着, 見学 (1 時間) 11.45 発 — 12.45 作廊着 (マイクロバ  
 ス) — 13.05 ダム着, 昼食 13.30 発 (トロリーバス) — 13.45 扇沢着 13.50 発 (北アルプス交通バス) —  
 14.35 信濃大町解散
5. 参 加 費 : 2000 円  
 6. 定 員 : 40 名 (先着順)  
 7. 申 込 期 限 : 1966 年 9 月 24 日 (土)  
 8. 申 込 方 法 : 参加希望者は勤務先, 連絡先 (住所, 電話番号) および氏名を明記 (様式随意) のうえ参加費 2000 円を添えて 9 月 24 日 (土) までに土木学会関西支部へお申し込み下さい。参加証をお送りします。  
 9. そ の 他 : 1. 集合までおよび解散後の交通費等は各自負担となります。  
 2. 参考列車ダイヤ  
 (第 1 日) 国鉄大阪駅 9 時 50 分発 (急行第一筑摩) — 名古屋 12.50 発 — 松本 16.43 着, 17.30 発 (信濃大町行) — 信濃大町 18.15 着  
 国鉄新宿駅 12.30 発 (急行第一白馬) — 信濃大町 18.30 着  
 (第 2 日) 国鉄信濃大町 14.41 発 — 松本 15.40 着, 16.24 発 (急行第二信濃) — 19.56 名古屋着, 20.30 発 (急行比叡 4 号) — 23.15 大阪駅着  
 国鉄信濃大町 14.41 発 — 松本 15.40 着, 15.50 発 (急行第 5 アルプス) — 新宿 20.18 着

(2) 砕石コンクリート講習会 ◀ 10 月 7 日 (金) ▶

- 共 催 : 日本材料学会関西支部・土木学会関西支部・日本建築学会近畿支部  
 協 賛 : 大阪建設業協会・大阪府建築士会・関西生コンクリート協会・近畿砕石協会・コンクリート研究会・日本建築協会
1. 日 時 : 1966 年 10 月 7 日 (金) 9.00 ~ 17.00  
 2. 場 所 : 大阪科学技術センター 8 階大ホール 電 大阪 (443) 5321  
 大阪市西区靱 1 丁目 118 番地, 地下鉄 3 号線信濃橋下車北へ 150 米 靱公園北東角
3. 題目と講師 :
- |               |                 |                 |
|---------------|-----------------|-----------------|
| 9.00 ~ 9.40   | ① 砕石コンクリートの概説   | 大阪大学工学部 奥 島 正 一 |
| 9.40 ~ 10.40  | ② 砕石の岩質と採石法について | 京都大学工学部 岡 行 俊   |
| 10.50 ~ 11.50 | ③ 砕石の製造と物理的性質   | 未 定             |

12.40~13.40	④ 砕石コンクリートの諸性質	京都大学工学部	岡 田 清
13.40~14.40	⑤ 砕石コンクリートの施工	千葉工業大学工学部	大 島 久 治
14.50~15.50	⑥ 石灰砕石について	大阪セメント株式会社	中 道 昭
15.50~17.50	⑦ 鉱滓バラストについて	八幡化学工業株式会社	小 松 原 正 夫

4. 定 員：200 名
5. 参 加 費：共催・協賛学協会会員 1500 円 会員外 1800 円（ともにテキスト代を含む）ただし会員でも講習会当日お申し込みは 1800 円となりますので期限内にお申込み下さい。
6. 申込締切：1966 年 9 月 30 日（金）
7. 申込方法：参加希望者は勤務先，連絡先，氏名および所属学協会名を明記して上記参加費を添えて（現金書留を利用）9 月 30 日（金）までに下記申込先へ申し込み下さい。
8. 申 込 先：日本材料学会関西支部 電 大阪（441）5531 番 大阪市西区靱 1 丁目 118 番地（大阪科学技術センター 6 階）
- （注）1. 受講者には参加証をお送りしますから，当日は必ずご持参下さい。  
 2. 講師その他やむを得ない事情によりプログラムに一部変更があるかも知れませんがあらかじめお済みおき下さい。  
 3. 参加会費の払戻しは致しません。

西部支部行事案内（福岡市舞鶴町 1 丁目 4 の 1 九州建設広済会内 電 福岡 74—1972）

合同講演会

◀ 10 月 28 日（金） ▶

主 催：日本金属学会九州支部・日本鉄鋼協会九州支部・土木学会西部支部

1. 日 時：1966 年 10 月 28 日（金）10.30~15.50
2. 場 所：九州大学工学部（福岡市箱崎町）
3. 講 演：

10.30~10.40	開会の辞	日本金属学会九州支部長	伊 藤 尚
10.40~11.20	港湾における鋼材の使用について	第四港湾建設部小倉調査事務所長	北 村 広 行
11.20~12.00	防蝕について	工業技術院九州工業技術試験所長	重 野 速 人
12.00~13.00	映画「若戸大橋建設」		日 本 道 路 公 団
13.00~13.40	建設用鋼材における問題点	八幡製鉄技術研究所鋼材研究室研究員	榎 藤 永
13.40~14.20	鉄筋コンクリートはりのボンドおよび疲労について	九州大学教授	水 野 高 明
14.20~15.00	サスペンションワイヤについて	東京製鋼KK 参与	新 保 赴 夫
15.00~15.40	第二関門連絡道路の技術的諸問題	九州地方建設局北九州国道副所長	大 橋 昭 光
15.40~15.10	閉会の辞	日本鉄鋼協会九州支部長	和 田 亀 吉

国際会議の案内

(1) The International Water Conference of the Engineers' Society of Western Pennsylvania—Twenty-seventh Annual Meeting のおらせ

会 期：1966 年 11 月 7 日~11 月 9 日

会 場：Pittsburgh, Pennsylvania, Penn-Sheration Hotel

登 録 料 金：20 ドル（プロシーディング代を含む）

- 主なる会議内容：(1) アメリカ合衆国および諸外国の水質汚濁汚濁に関する行政上の問題  
 (2) イオン交換法の運転  
 (3) 色度除去  
 (4) 水処理プラントのオートメーション  
 (5) 腐蝕の問題  
 (6) 石灰処理の自動化

出席予定者：約 700 名

詳細は土木学会衛生工学委員会までお問い合わせ下さい。